

7/28 天草高校科学部が「内閣総理大臣賞」「環境大臣賞」のダブル受賞を報告



1 科学部を代表して馬場市長を表敬訪問した平香織さん、友澤花保さん、佐々木理央さん（左から順）



2 研究の成果や苦勞したことなどを報告

「アマモ場の生育研究と再生活動に関する研究」が、海洋立国推進功労者として内閣総理大臣賞を、また、天草のゲンジボタルが地域固有種であることを明らかにし、本市などと連携しながら、高校生が主体となって保護活動を継続していることが、地域環境保全功労者として環境大臣表彰を受賞しました。

アマモの研究は、水産分野では4年ぶり、普通科高校としては初の受賞となります。海面上昇を抑えるために、CO₂を減らす手段としてアマモに着目したことから始まったもので、試行錯誤しながら研究を続けてきたことが評価されました。また、ホタルの研究は、天草高校がSSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)に指定された平成29年度にスタート。発光周期とDNAとの関係を調査し、他の地域のホタルとは見た目が同じだが、生態的特徴が別のものであることを明らかにしました。

宝島の

わだい



◀各地のわだいをもっと見る！
市ホームページ「トピックス」

7/19 河浦町一町田地区 伝統の虫追い祭り



▲この日始めて乗った子でも10分も経つとスイスイと進んでいく

◀20mの旗竿に5色の旗が五穀豊穡を願い風にたなびき、青く澄んだ空を鮮やかに彩る

一町田で伝承される「虫追い」は、1630年頃に地域に害虫が大発生した際、信心深い1人の老婆が赤い絹を氏神に奉納し、その絹布で害虫を追いかけていたことが起源とされています。それがやがて5色の吹き流しという虫追い旗に変わり、現在まで受け継がれています。

この日は、旗を持って練り歩く行列のほか、一町田川で小学生を対象としたシーカヤック体験や、コミュニティセンターで高齢者向けのeスポーツ体験などが催され、地域住民の交流が深まった1日となりました。

7/24~30 島をぐるりと回って体験
天草市姉妹都市教育交流事業



▲エンシニータス市（アメリカ）から7人が訪問。牛深地域では地域住民から華道や茶道、琴などを教わった

7/22 天草市から初のグランプリ受賞
第101回「ジャパン・フード・セレクション」



▲アマテ農園（五和町）の「天授柿®」が受賞したことを市長に報告。大きさや甘みの濃厚さなどが評価を受けた

7/20 イルカセンターで夏を満喫
海の日イルカフェスタ



▲五和中ブルーフレンズが企画したクイズラリーは、親子連れを中心に多くの人が挑戦し大にざわい

7/17 栖本小学校開校150周年の感謝を込めて
児童がうちわとのぼり旗を作成



▲1～3年生がうちわ、4～6年生がのぼり旗を一つひとつ手作りで作成

8/10~21 第6回宮南地区写真展



▲地域住民が町内外で撮影した写真約380点を展示

8/3 地域おこし協力隊
インターン生が御所浦に着任



▲都市部の大学に通う学生4人が御所浦の子どもたちの学習を支援

7/26 倉岳地区公民館全体講座
「ふるさと倉岳学講座」



▲野草料理や戦国時代の調理法に基づいた茶菓子などが振る舞われた

7/24 天草町福連木で交通安全
キャンペーン



▲小学生がドライバーに呼び掛け「安全運転をお願いします！」

7/19 第31回さざ波フェスタ2026



▲ステージやサンドアート、屋台、花火などに多くの観客が訪れた

7/18 御所浦恐竜の島博物館
特別展がスタート



▲アジア初のモササウルス類の全身骨格「ワカヤマソウリュウ」などを展示